



WWF (世界自然保護基金) ジャパン

NPO法人千葉大学環境ISO
学生委員会

NPO法人千葉大学環境ISO学生委員会の皆さんとWWFジャパン山岸尚之さん(中央)

パリ協定と世界の気候変動対策の潮流

～日本、そして私たちはどうすべきか～

2016年12月、温暖化を防ぐための新しい世界協定「パリ協定」が発効となりました。

そこで、千葉大学の環境ISO学生委員会の皆さんが、国際的な環境保全団体であるWWFを訪問。

パリ協定についての研修を受け、大学生として何をすべきかを考えました。

「パリ協定」とは？

パリ協定は、2020年以降、世界の国々がどのように温暖化防止に取り組むかを定める国際協定です。

世界の平均気温は、産業革命前よりすでに約1度上昇。このままでは、21世紀末に4度上昇すると予測されています。しかし、温暖化がもたらす影響を、人類がなんとか対応できるレベルで抑えるには、1.5度ないし2度未満までの上昇に留めなければなりません。

パリ協定には、①地球の平均気温の上昇を、産業革命前と比べて2度より充分低く抑え、さらに1.5度未満にするよう努力する

②今世紀後半に温室効果ガスの人為的な排出を実質的にゼロにする、という、野心的な目標が盛り込まれています。

本当の意味での国際合意

過去、温暖化防止の国際交渉は常に難航してきました。大きな要因のひとつは、温室効果ガスを大量に排出している国と、まっ先に温暖化の影響に苦しむ国とが異なることです。そうした中で、先進国も開発途上国も参加する本当の意味での国際合意として生まれたのが「パリ協定」です。

これを絵に描いたモチにしないためには、パリ協定を実現させる国際的なルール作りと、各国の国内における具体的な温暖化防止策の実施が重要となります。日本はここ数年、温室効果ガスを減らすことができていません。政府はもちろん、企業や個人の取り組みも、ますます重要になってきています。

NPO法人千葉大学環境ISO学生委員会

感想



嶺 康平さん(法政経学部)

学生団体という「産官民の中間に位置する存在」であるからこそ、それぞれの架け橋と成れるよう今後の活動を展開していきたいと思っています。



柿原 啓人さん(法政経学部)

国際社会において、環境に対する危機感が強く抱かれていることを学びました。これから社会に出て行く中で、この認識を役立てていきたいと思いました。



日隈 壮一郎さん(工学部)

国際的にも有名な企業や多くの国が気候変動対策を本格的に始めています。それを受けて、日本でもより本格化・浸透して欲しいと感じました。



松村 佳孝さん(工学部)

パリ協定によって、様々な背景を持つ国々が合意に至ったことに驚いて学びました。今後は世界の流れを理解し、行動したいと思います。



近藤 優衣さん(法政経学部)

今、自分がいる位置から多角的な視点を持って世界を見ること、私たち大学生が実践できることを見つけていきたいです。



林田 裕紀さん(理学部)

自分で行動するだけではなく、それを他の人と共有し、その大切さを理解していない人へ伝えていくことが最も大切なことだと思いました。



矢野 由希子さん(法政経学部)

パリ協定採択の経緯や採択にあたっての国際社会の意志を知り、感銘を受けました。



篠原 愛恵さん(国際教養学部)

環境問題を解決する上で相手の立場も考え、自分の選択を決めていこうと思います。



岡 桃菜さん(国際教養学部)

温暖化対策のために新たな企業や投資が動き始めており、社会的にも注目されていることが分かりました。

WWFの活動をぜひご支援ください

WWFは100カ国以上で活動する地球環境保全団体です。
その活動はすべて皆さまからのご寄付や募金で成り立っています。
ぜひ世界の自然保護に力を貸してください。



私たちはWWFです
人と自然が調和して生きられる未来をめざして、地球環境の悪化をくい止めるさまざまな活動を実践しています。

www.wwf.or.jp